

ポセイドン(Poseidon)はオリュンポス十二神の一柱で、海をつかさどる神であり、また川・洪水・干ばつ・地震・馬の神である。元来はゼウスより古いペラスゴイ人の神であり、地震の原因ともみなされたが、オリュンポス十二神と統合されると、ゼウスやハデスの兄弟となり、くじびきによって海の神となった。最初の馬を作り出したとされる馬の神でもあり、競馬の守護神としても崇められた。ローマ神話ではネプトゥヌス（ネプチューン）と同一視された。ギリシア美術では三つまたのほこを持った威厳ある壮年の男性として描かれることが多い。

系譜

- 父はクロノス、母はレア。
- 子はアムピマロス、エルギノス、プロテウス。
- 妻はガイア、娘はキュモボレイア。
- 妻はアンピトリテ、子はトリトン、アルピオン、娘はロデ、ベンテシキュメ。
- 妻はデメテル、子はアリオン、娘はデスポイナ。
- 妻はハリア、子はロドス。
- 妻はアルシオネ、子はヒュリエウス、ヒュペレノル、アントス、娘はアイトゥッサ。
- 妻はエウリュアレ、子はオリオン。
- 妻はカナケ、子はホブレウス、ニレウス、エポペウス、アロエウス、トリオプス。
- 妻はテオパネ。
- 妻はアガメデ、子はディクテュス。
- 妻はリビュエ、子はアゲノル、ベロス、レレクス。
- 妻はカルキニア、子はペラトス。
- 妻はアルネ、子はアイオロス、ポイオトス。
- 妻はラリッサ、子はアカイオス、プティオス、ペラスゴス。
- 妻はアルタイア、子はアンカイオス。
- 妻はクリュソゲネイア、子はクリュセス。
- 妻はリュシアナッサ、子はブシリス。
- 妻はメリエ、子はアミュコス、ミュグドン。
- 妻はアミュモネ、子はナウブリオス。
- 妻はピタネ、娘はエウアドネ。
- 妻はカインエウス、子はコロノス、ポコス、プリアソス。
- 妻はエウリュキュデ、子はエレイオス。

解説

- 元来は地震を司る大地の神であったと思われ、「大地を揺らす神」と同一視されていた。
- イリュリア神話ではRodon、エトルリア神話ではNethuns、ローマ神話ではネプトゥヌス（ネプチューン）と同一視された。ローマでは、はじめ馬の神として崇拝され、また競馬の神とされた。ローマでは競馬場の近くにネプトゥヌスの神殿が建てられた（紀元前25年）。祭日ネプトゥナリアは7月23日だった。
- 彼は頑強な体格で濃いあごひげを生やし、三つまたのほこを持った壮年男性として一般的には描かれる。美術では、アルテミシオン沖で発掘された古代盛期の青銅像が著名である。この像ではポセイドンは裸体で三叉の矛をもった立像に描かれる。

エピソード

- ティタン戦争古い神々をタルタロスに投獄するため、ゼウスとハデスと共に戦った。
- クロノスの子らで世界を分け合った。彼は海の支配権を得た。
- ポリュボテスを葬った。巨人戦争の際にコス島の下に。
- 海の怪物を送った。城壁を作った彼への礼をトロイア人たちが拒否したのを罰して。
- 女性を誘惑した。テュロ、アミュモネ、アイスラ、ゴルゴンのメデューサ。
- アテナイの所有権をアテナと争った。彼はそこで最初の馬を作り出した。
- オデュッセウスを迫害した。彼の息子のキュクロプスのポリュペモスを盲目にしたので。